至德

射水市立金山小学校 学校だより 令和2年6月17日 No.8



学校が再開して、2週間が過ぎました。子供たちは、学校生活のリズム を次第に取り戻し、元気いっぱい、笑顔いっぱいで生活をしています。 朝の児童玄関も子供たちの明るい笑顔がたくさん見られます。

<子供たちの会話から>

1年生:ねえ、これなあに。

2年生:オクラやよ。

3年生:このミニトマト、大きい。ばあちゃん水やり過ぎると大きくなるって言ってた。やり

過ぎ駄目だよ。小さい方が甘くておいしいんだって。

2年生:僕のピーマンできたよ。

1年生:えっどこ?本当だ!

3年生:トマト倒れそうだよ。棒立ててあげないと。

2年生: 先生に言って、もらってこようと。

学年が入り交じって、色々な会話が繰り広 げられています。子供たちの教え合いの場 にもなっています。

1年生は学校らしい活動ができるようになり、うれしさにはずんでいるように見えます。蔓が伸び出したので、間隔を開けて鉢がおいてありますがそれを、「アサガオさんもソーシャルディスタンスや」と言ってきてくれる子供。「ぎゅうぎゅうだったから、ジグザグにしたん。自分たちで考えたの」と間引きしたことを得意げに話してくれる子供などなど。とっても微笑ましいです。

朝の活動の他にも様々な場面で、学校だからこそ、友達と関わるからこそ気付いたり感じたり学

んだりする様子が多く見られます。学校生活の大切さを実感します。この生活をずっと続けることができるよう、子供たちと共に新しい生活様式を定着させていきたいと思います。ご家庭のご協力もよろしくお願いします。





〇 八角池に新しい仲間が



休業中にきれいにしていただいた八角池に、山下ちか子先生が金山に住んでいる黒めだかを持ってきてくださり新しい仲間が増えています。前から棲んでいるギンブナやイロゴイ等と棲み分けできるような工夫もしてくださっています。今まで餌やりは先生が行っていましたが、今回子供たちに餌やりのボランティアを募集しまし

た。自分から進んで仕事を受け持ちたいと思ってくれたことが嬉しいです。いろんな場面で、自分から進んで取り組もうとする姿を見ることができるように支援していきたいと思います。

○ 新しい生活様式での生活の定着に向け!!

新型コロナウイルスの感染拡大の中「新しい生活様式」が提唱されるなど、影響の長期化も懸

念されています。そうした中で今、注目されている考え方が「withコロナ」の社会です。新型コロナウイルスと"共に生きる"ことを前提に、私たちの暮らしの形そのものを、変えていこうというのです。そこで、楽しみながら「新しい生活様式」を意識して行動できる力を付けるため、校内オリエ

ポイント	場所	方法	担当
手洗い	家庭科室	正しい手洗いで。	4年生
歩き方	廊下・玄関・階	ソーシャルディスタンスを守って。	5年生
挨拶	段等		
しりとり	児童玄関	Zoomを使って校長室にいる校長先生と。	全員
縄跳び	体育館	人数×10 回	全員
なぞなぞ	多目的室	2問	2・3 年生
自然見付け	築山	春・夏らしいもの見付ける。	1年生
スピーチ	スタート地点	複数のお題の中から選ばれたものについて	6年生
		1分間スピーチ。	

ンテーリングを行いました。6年生は、ポイントを示した地図とポイントを記録するカードを持ち、下級生に気を配るなどリーダーとしての役割を果たしながら縦割り班で学校敷地内7カ所を巡りました。それぞれのポイントで担当する学年は決まっていますが、上級生がアドバイスしたり全員で考えたりして仲良く活動しました。







校長室とつながっています

どれにしようかな?築山には自然がいっぱい



ソーシャルディスタンスを意識して。

~子供たちの声~

1年生:お兄さん、お姉さんと仲良く動けました。また、遊びたいです。

2年生:色々な先生に進んで元気よく挨拶ができたので嬉しかったです。でも6年生さんは、ぼくよりももっと大きな声で挨拶していたのでカッコよかったです。

3年生:1番楽しかったのは、しりとりです。他には春・夏に咲く植物を探すのも、1年生がしっかりとしていて凄いなと思いました。

4年生: 手を合わせないハイタッチやパソコンでやるしりとり等「新しい生活様式」を感じました。 みんなとこんなときでも楽しく遊べました。またしてみたいです。

5年生: みんなで楽しく過ごせました。あまりしゃべらずに移動するのが難しかったです。これから「新しい生活様式」を守って、小さい学年の

人にも声をかけてあげたいです。

6年生: 班のみんなと楽しみながら仲を深められたし、 「新しい生活様式」を意識しながら行動でき ました。最高学年として自ら行動しみんなを まとめられました。これからの学校生活でも

5年生の振り返りカードより

していきたいです。そして、そう考えられる機会になったのでよかったです。